



加藤 元の



と暮らして
みませんか

40

犬や猫の歯科で、最も多く犬や猫を苦しめ、歯を失わせる病気は、歯周病です。

人の場合、最も良い歯周病予防は、正しい歯磨きを毎食後に行うことです。しかし、犬や猫に自らやってもらおうわけにはいきません。犬や猫が毎食後、喜んで飼い主から歯磨きを受けるように教えてやるわけです。

ここでも、すでに紹介した犬や猫の基本的なしつけの原則が役立つのです。すべてのしつけは、うまくできたらほめて、ごほうび（損得ではなく喜び）を与えることから成り立っています。だから

歯周病予防

歯磨きできたら、ごほうびを

ら、歯磨きの場合も同じです。

まず最初に、口の中に指や手を入れ、人の手で口を開けられることが好きになるようにしてやります。それに慣れたら、ガーゼなどで歯をこすつてやることに慣れさせます。初めはちよつとできただけでほめて止め、次第にその時間と回数を増やしやります。

犬や猫が安心して受け入れるようになったら、犬猫専用の柄に角度がついた歯ブラシに変え、歯磨きペーストは、犬や猫が好むものを使用します。

この場合も、最初はほんの少しできただけでほめて止めます。そして繰り返すたびに、さらにはほめ、ごほうびをやることを繰り返せばよいのです。一食であれば一回、二食であれば二回、食後に歯磨きをしてやることを習慣づけていくわけです。

ここまでも受入れられない場合は、夜寝る前にガーゼで歯をこすつてやるだけでも大いに効果があります。歯磨きは、歯石の付着をできるだけ防ぎ、歯周病の予防に役立つのです。

しかし、歯磨きができるようになってからも、定期的に歯科を含む検診を受けさせてやるのが犬や猫の歯と全身の健康を守つてやるベストの方法です。

（ダクタリ動物病院広尾病院院長、日本ヒューマン・アニマル・ボンド・ソサエティ会長）

《産経新聞2005年1月23日掲載》